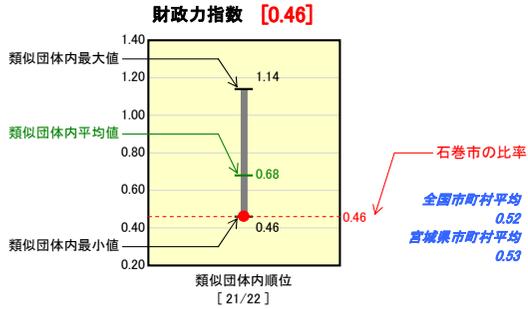


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

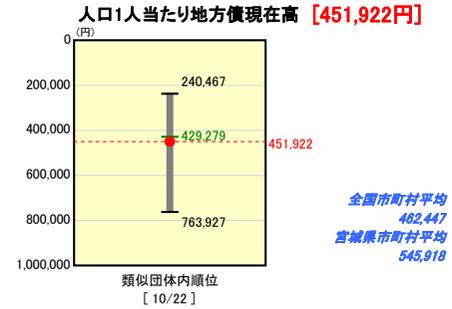
## 宮城県 石巻市

人口	169,587	人(H18.3.31現在)
面積	555.64	km <sup>2</sup>
歳入総額	69,203,599	千円
歳出総額	68,509,022	千円
実質収支	547,690	千円

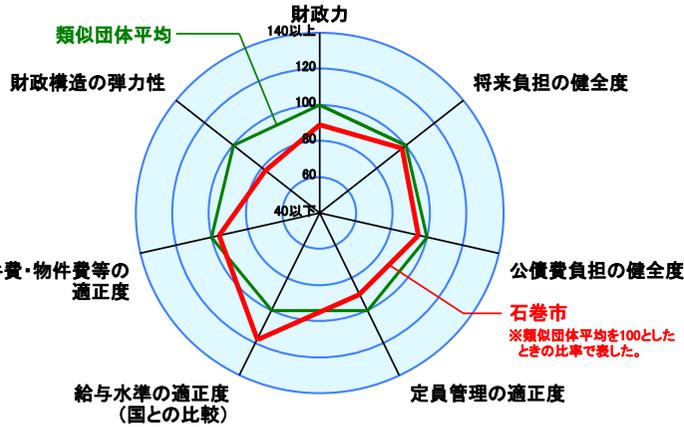
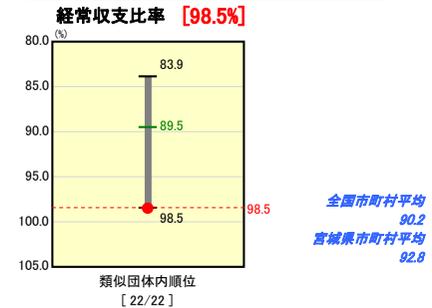
### 財政力



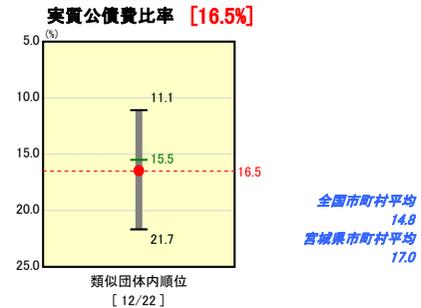
### 将来負担の健全度



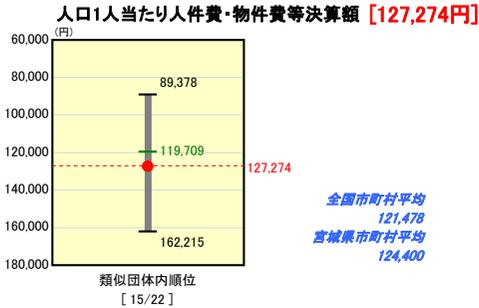
### 財政構造の弾力性



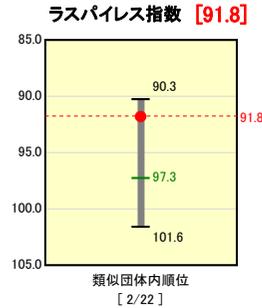
### 公債費負担の健全度



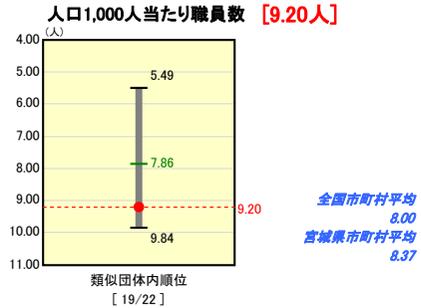
### 人件費・物件費等の適正度



### 給与水準の適正度 (国との比較)



### 定員管理の適正度



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

#### ■財政力指数

・長期化する景気の低迷や雇用情勢の悪化による市民税、家屋の新増築の伸び悩みなどによる固定資産税など市税の落ち込みの影響により0.46と全国市町村平均を0.06ポイント、類似団体平均を0.22ポイント下回り、類似団体でも最も低い水準にあるという結果となった。今後は企業誘致や中心街の活性化となるまちづくり事業を実施し市税等自主財源の確保を図る。また、地方債に依存している財政構造を改善し、数値の改善に努める。

#### ■経常収支比率

・市税や普通交付税の減額による経常一般財源の大幅な減額、また扶助費や公債費などの義務的経費の増加、各種特別会計への公債費繰出の増加等の要因により98.5%と、全国市町村平均を8.3%、類似団体平均を9.0%上回り、類似団体内では最も悪い水準にあるという結果となった。今後は、新市として策定した集中改革プランをもとに、事務事業の再編・整理、民間委託等の推進、職員定数・給料の適正化、第3セクターの見直し等を確実に実行し財政の健全化を図る。

#### ■人口1人当たり人件費・物件費等決算額

・給与の水準は低いものの、人口1,000人当たりの職員数が多いことが要因で全国市町村平均、類似団体平均を上回る結果となった。今後は「職員定数適正化計画」に基づき、組織の整理・統廃合、施設管理形態の見直し、退職者不補充などにより職員数の削減(10年間で600人)を実施し、経常経費の削減に努める。

#### ■ラスパイレース指数

・全国市平均を5.6ポイント、類似団体平均を5.5ポイントと大幅に下回る結果となった。今後は給与の市独自削減(市長10%、特別職7%、部次長・課長級5%、補佐・主査・主任級4%、主事級3%)の実施に伴い、給与の更なる適正化を図る。

#### ■人口1人当たり地方債現在高

・合併前の大型事業の実施に伴い、全国市町村平均を下回っているものの類似団体平均を上回る結果となった。今後も合併特例事業等により地方債発行額の増加が見込まれることから、新規発行額の上限設定を設けるなど抑制を図る。

#### ■実質公債費比率

・合併前から実施していたまちづくり事業、インフラ整備事業などにより公債費水準が高く、全国市町村平均を1.7ポイント、類似団体平均を1.0ポイント上回る結果となった。今後も合併前の大型事業の公債費償還開始に伴い状況が悪化する見込であるため、投資的経費の見直しにより新規地方債発行額の抑制を図る。

#### ■人口1,000人当たり職員数

・合併に伴い全国市町村平均を1.20人、類似団体平均を1.34人と大幅に上回る結果となった。今後は「職員定数適正化計画」に基づき、組織の整理・統廃合、施設管理形態の見直し、退職者不補充などにより職員数の削減(10年間で600人)を実施し、行政運営の効率化を図る。